

第 2 回日・韓・中青少年冬季スポーツ交流 北海道にて開催

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、来る 2026(令和 8)年 2 月 23 日～28 日の期間、北海道にて標記交流を開催します。



【2025 年/第 1 回交流の様子】

■交流の概要

本交流は、日本、韓国、中国の中学生世代による冬季スポーツの交流として、2025(令和 7)年 1 月に第 1 回交流を韓国にて開催しました。

今回が 2 回目となり、日本では初めての開催となります。

| | |
|------|---|
| 名称 | 第 2 回日・韓・中青少年冬季スポーツ交流 |
| 期間 | 2026(令和 8)年 2 月 23 日(月・祝)～28 日(土) 6 日間 |
| 開催地 | 北海道 札幌市、苫小牧市、旭川市、小樽市 |
| 参加人数 | 日本選手団:137 名【団長:森岡 裕策(JSPO 専務理事)】 韓国選手団:137 名 |
| 実施競技 | 4 競技 6 種目 スキー(アルペン/クロスカントリー)、 スケート(スピード/ショートトラック)、アイスホッケー、カーリング |
| 添付資料 | 実施要項/開催概要/全体日程(予定) |
| その他 | 本交流はスポーツ庁国庫補助事業/スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業です |

■中国選手団について

中国選手団については、2026(令和 8)年 1 月 29 日付で派遣元である中華全国体育総会から、同団体に所属する全選手、コーチ、サポートスタッフが、本交流に先立って開催される、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック競技大会への準備や対応に全力を注いでおり、本交流に対し十分な参加者および支援リソースを割り当てることができなくなったため、本交流への参加を見送る事とした旨の文書連絡がありました。

当協会としましては、大変残念ではありますが、中国側の状況や意向を尊重し、不参加を了承するとともに、本交流の実施について、韓国選手団を派遣する大韓体育会、開催地である(公財)北海道スポーツ協会、スポーツ庁をはじめとする関係機関とも協議いたしました。

その結果、本交流が我が国で初開催となることや、実施目的である中学生世代の冬季スポーツを通じた交流の重要性に鑑み、交流の名称は変更せず、第 2 回交流として、日本と韓国の 2 国間において実施することとします。

◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPO は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSPO では、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や 60 を超える競技団体、47 都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約 15 分)

▶ JSPO 中期計画 2023-2027

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ



ニチバン

日本文化出版

時事通信



日本郵政



公益財団法人
ライフスポーツ財団